

恵美須町駅

60分  
コース

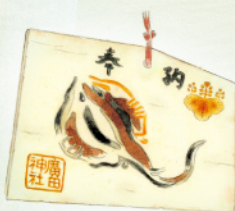
# Osaka Metro まちさんぽ

堺筋線 恵美須町駅

サブカルチャーの日本橋

## 紀州街道・堺筋 でんでんタウンと オタロード

豊臣秀吉が大坂と堺を結び、住吉大社への参詣道ともなった道筋が堺筋で、江戸時代の大坂のメインストリートでした。紀州藩の参勤交代に使われた紀州街道の一部であり、また住吉街道と呼ばれることもありましたが。このあたりは近くの今宮戎神社から恵美須の字をあて、町名にしました。



長谷川定信『浪花百景 なんば御蔵』大阪市立図書館

スタート駅

堺筋線  
恵美須町駅  
⑤号出口

1 馳川・名呉橋跡

2 今宮戎神社

3 廣田神社

4 長町・日本橋

5 台臨記念碑  
秩父宮同妃兩殿下

6 眺望閣跡・五階

7 でんでんタウン

8 オタロード

9 大乘坊(毘沙門天)

10 難波新川跡碑  
難波御蔵

ゴール駅

なんば駅  
御堂筋線  
千日前線

太古の昔、このあたりは海浜で、中国の呉の国から織女たちが船で渡来して織物技術を伝えたという逸話が『日本書紀』に書かれています。この浜は「名呉の浜」と呼ばれ、次第に陸地化していった名呉町になり、やがて長町となり、そして日本橋と名を変えました。

## 紀州街道・堺筋でんでんタウンとオタロード

豊臣秀吉が大坂と堺を結び、住吉大社への参詣道ともなった道筋が堺筋で、江戸時代の大坂のメインストリートでした。紀州藩の参勤交代に使われた紀州街道の一部であり、また住吉街道と呼ばれることもありましたが、このあたりは近くの今宮戎神社から恵美須の字をあて、町名にしました。

スタート駅



約 60 分



ゴール駅

## 堺筋線恵美須町駅⑤号出口

## 御堂筋線・千日前線なんば駅

## 1 いたち なご 鮠川・名呉橋跡

四天王寺建立のときに木材を運搬する目的で開削され、イタチが掘ったと



いう伝承のある川がここを東西に流れていました。鮠川の紀州街道に架かっていた橋が織女の伝説を受けた名呉橋で、大坂町奉行所がここから以南を紀州街道と定めたという記録があります。名呉橋は現在の阪神高速1号環状線えびす町入口のところです。



## 2 今宮戎神社

聖徳太子が四天王寺西方の守護神として創建した古社です。当地は古代には「津江庄」「今宮庄」と呼ばれる漁村で、祭神に戎神と同一とされる事代主神を祀り、古来、漁業の神として崇められてきました。やがて商売繁盛の神として毎年1月の十日戎は、元禄年間から伝わる祭事として新年の大坂の風物詩となっています。



## 3 廣田神社

神功皇后が三韓征伐からの帰途、難波の海を鎮めるために天照大神の荒魂を祀ったという伝承があり、難病悪疾の護り守として信仰されています。漁村・今宮庄の守護神で、毎年正月に御所へ2尾の鯛を貢いだという記録が残っています。浅い海に生息するアカエ(アカエイ)が神使とされています。



## 4 にっぽんばし 長町・日本橋

江戸時代は紀州街道に面して旅籠や木賃宿が並び、長町と呼ばれて旅人で賑わいました。『東海道中膝栗毛』の弥次さん・喜多さんも投宿しています。やがて無宿者が集住して治安が乱れたので、寛政4年(1792)に北側半分が日本橋と改称され、明治にすべて日本橋という町名に変わりました。



## 5 秩父宮同妃両殿下台臨記念碑

昭和初期、不良な長屋が密集していたこの地区に、大阪市が市営改良住宅を建設して斬新な模範住宅として注目され、昭和12年(1937)に秩父宮殿下・妃殿下の訪問があり、記念碑が設置されました。やがてベランダに小部屋が増築されるなど容貌が変化して俗に「軍艦アパート」と呼ばれるようになり、平成18年(2006)にすべて取り壊されました。



## 6 眺望閣跡・五階

明治21年(1888)、このあたりにできた遊園地の一面に六角柱状の5階建ての眺望閣という展望塔が建てられました。六甲山から淡路島まで見えると評判を呼んで、周囲に茶店、露店が集まり、一帯を「五階」と呼びました。翌年に北野村(茶屋町)に9階建ての陵雲閣が建てられて「ミナミの五階・キタの九階」と大坂名所になりました。



## 7 でんでんタウン

明治半ばになると日本橋には古着や古道具を扱う店が集まって「掘り出し物の町」として賑わいました。その流れで多くの古書店が店出して学生や文化人など流行に敏感な人々をひきつけ、やがてラジオや蓄音機などを扱う店



が増え、日本橋電気街が誕生しました。戦後の復興も早く、時代に即応した電気器具を扱う店が密集して電気街として地位を固め、昭和53年(1978)には「でんでんタウン」という愛称がつけられました。平成になると郊外型の家電量販店に押されて次第に勢いを失いましたが、マニアックなゲームソフトやアニメ関連の店舗が急増して再活性化し、電気街からオタク街へと劇的な変貌を遂げました。近年では海外からの観光客も多く、堺筋の西側は「オタロード」と呼ばれて新たな賑わいを見せています。



## 8 オタロード

## 9 大乘坊(毘沙門天)

四天王寺の守護寺院として創建されましたが、石山合戦のときに現在地に移り再興されました。明治期までは寺領千坪といわれた大寺院で、「長町の毘沙門さん」と呼ばれて信仰を集めていました。

## 10 なんばおくら 難波御蔵・難波新川跡碑

享保17年(1732)の大飢饉から幕府はここ難波村に米を備蓄する蔵を設置しました。「なんばパークス(旧大阪球場)」の場所で、米蔵が8棟もある大規模なものでした。米の搬入のために道頓堀川から引水して難波新川(難波入堀川)が掘られました。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2025年6月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそび委員会 (お問い合わせ先) 大阪あそび info@osaka-asobo.jp

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそび」のホームページをご覧ください。

<https://www.osaka-asobo.jp> または [大阪あそび](#) で検索

## ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。  
※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。住宅敷地内での写真撮影は厳禁です。

## ご案内

※駅スタンプは駅長室付近に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

## 駅スタンプ押印欄



毎月第1金曜日発行